



# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1991~1992年度クラブ目標 “親睦と奉仕の流れを創ろう”

## 第34回例会報告 (7/3)

特別代表 由井 重光

司会 SAA 海野 栄一

☆ 点 鐘 会長 田中 實

☆ ロータリーソング 「日も風も星も」

ソングリーダー 菊池 敏

☆ ビッター紹介 会長 田中 實

篠塚 武雄 (東京多摩RC)

高取 渡 (東京多摩RC)

久嶋 達也 (東京多摩RC)

富室 健 (東京多摩RC)

西尾 正諄 (東京多摩RC)

有馬 良定 (東京多摩RC)

永井回太郎 (東京羽田RC)

☆ 会長報告 会長 田中 實

\* 6月27日クラブ協議会のテーマに関係委員長にお集まりいただき委員長会議を開催しました。テーマが会員の増強と新会員に対するオリエンテーションについてという事で公式訪問に対応することとなりました。

\* 6月28日会長・幹事・地区役員の打ち上げ式に参加。

\* 本日第1回定例理事会を開催いたし本年度の活動計画につきまして理事会のご承認を頂きました。

\* 会員の会費収集は銀行引落の方向で理事会の承認を頂きました。

以上が理事会の決定事項です。

## ☆ 幹事報告 幹事 宮本 誠

\* 本日第1回理事会 活発な意見の交換が行われました。

\* 会費の納入について、7月末までに会費の振込をお願いいたします。

\* 新しい会員証を発行致しました。(会費納入については信頼しております)

\* その他の細かい金銭の納入について会員口座からの振替方法をとることに理事会決定。

\* 具体的な方法はなるべく早く研究する。

\* 6月28日の地区打上会でガバナーより3つの表彰を受けた。

① 会員増強優秀賞

② 米山記念奨学金寄付優秀賞

③ 地区大会出席優秀賞

\* 3つの表彰を受けたのは我がクラブだけあります。

\* 特別代表、スポンサークラブの会長、幹事さんにも喜んで頂きました。出来れば出席率優秀賞を受けたかった。これからも元気を出してやりたいと思います。



## 【就任挨拶】 会長 田中 實 「親睦と奉仕の流れを創ろう」

熱意の結晶とも言うべき認証状伝達式も、当事者の私達が驚く程の盛況で終了致しました。又、初年度の活動計画につきましても一応其なりの成果を見る事が出来ました。これは、ひとえに指導育成に力を注いで下さいました由井特別代表、スポンサークラブの石坂会長並びに多くの方々のご支援ご指導に依る賜と会員共々感謝の意を捧げたいと思います。

さて、初年度は会員の皆様の暖かいご理解とご協力によりまして無事に会長職の任務を果たす事が出来ました。心よりお礼申し上げます。細則により創立2年度の会長職も引き続き勤める事になりましたが初年度と違ひまして「知らなかった」は通用しないと存じまして、懸命の努力は致す所存で御座居ます。しかし未熟者故に皆様の一層のご支援ご協力を切にお願い致します。

改めて私なりの本年度の活動方針についての抱負を述べさせて戴きまして会員皆様に目的達成の為に協力お願い致します。本年は皆様のご協力によりましてクラブの知名度が高められました。私達はこれから末永く素晴らしいロータリークラブだと多くのロータリアンの皆さんに認めて頂くためにグリーンロータリーとしての風格を皆様と共に育てて行きたいと思ひます。

テーマの“親睦と奉仕の流れを創ろう”は何事もリズムが大切だと思ひまして掲げました。そのことを含めまして本年度の目標を次の様に申し述べます。

1. ロータリーには組織と役割は有りますが全て個々のロータリアンの自由な意志決定が基本と思ひます。しかし国際的な組織としての共通性と連帯協力を保持するための定めがあります。ロータリアンとしての研鑽を勤めるためロータリーの有識経験者の講演、会員の貴重な生活の歴史談等の卓話を積極的に増やし、ロータリーの情報の宝庫であるロー



タリーの友を必ず読む習慣を身につけて戴けるように提唱したいと考えております。

2. 親愛、尊敬、感謝は全て人の心の中に生まれます。しかし、かたちとして表さなければ相手に通じません。私達は来訪されるお客様の対応、クラブ会員に対する行事（入会式、誕生祝い、結婚記念など）、例会の催し方など全てに暖かく心のこもった運営に努力したいと思ひます。

3. 地域社会に少しでも貢献出来るように社会奉仕事業は継続性と各年度内毎に成果が見られる事業を模索しその発足を図ります。

4. クラブの増強は会員数50名を目標として最低6名の新加入を推進し全員が増強委員になった心算で目的達成を目指して戴きます。そして基本的には平均年齢を高くしない事が好ましいので現在の平均年齢を越さないように心掛けます。

5. 寄附奉仕は特別（一括）寄附より負担があまりかからなく数年の内には目標額が達成出来るような分割寄付を活用し、ある期間後には全員が寄付達成者になる事を目指したいと思ひています。

以上を年度の目標と致しまして活動を推進して参りたいと考えておりますが、出席の励行が出来なければ計画の達成は疎か、親睦も奉仕も生まれまいことを皆様共々、肝に命じ努力を重ねたいと思ひます。

## “2代目幹事として”

1991～92年度

幹事 宮本 誠

初年度を訳もわからずドタバタと何かと乗り越えて来た我クラブにとって、2年目に入って重要なポイントは2つあると感じております。

1つは、無駄なエネルギーと時間を費やさず本質的な事に精神と時間を有効に働かせるために、我クラブとしての物のやり方、「型」を造ることと考えます。それが会長方針の“流れを創ろう”というこ



とであると思います。

今一つは、全員が「参加する」＝「見ていないで自分自身が体と時間を使って実際に動く」習慣を確立することと考えます。行動の内容よりも、「先ず行動することそのもの」の方が大切と思われます。何故なら、内容の良し悪しは判断によって異なり得ますし、又試行錯誤して修正すれば済むことですから。そして、その行動の第一歩が「出席」であります。迷わず先ず「出席」しましょう。何をやるかはおのずと出てくるのではないでしょうが、難しく考えないで先ず「体」を動かしましょう！

初年度は、限られたスケジュールの中で対外的事項も数多くこなさざるを得ないという状況の中で、二代目幹事から見た初代幹事は少々自分自身が動き過ぎざるを得なかった点があると思われます。

その点、二代目としては、じっくりと皆様の活動の調整役に徹することができるのではないかと考えて居ります。

よろしくご協力と忌憚のないご意見をお寄せ頂こうお願い致します。

### ☆委員会報告

#### ★親睦委員会

城倉 正博

#### ニコニコBOX

由井 重光

東京多摩グリーンRC第2年目のスタートを心からお祝いして。

◎ 第1回の例会に伺い、貴会の益々のご発展をお祈り致します。

富室 健、久嶋 達也、有馬 良定

高取 渡、西尾 正諠

(以上東京多摩RC)

◎ 新年度、第1回目の例会を迎えて気持ちを新たに

中山 恒武、海野 栄一、足立潤三郎

橋口 洋三、遠藤 二郎、城倉 正博

宮本 誠

第1回例会はりきって行きましょう。6月28日、地区で3つの表彰を受けました。

北村 幸彦 今日からSAAです。よろしく。

大熊 将夫 スポンサークラブの皆さん、ようこそお出で頂きました。

風間 茂穂 昨日来日学生歓迎会に出席しました。

伊神 稔 新年度もニコニコで。

吉田 文夫 出席100%で記念品を頂き有難うございました。

以上合計 41,000円

★出席委員会 松原 健

[出席報告]

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	39	34		5	87.18%
前回 訂正	39	36	2	1	97.44%

[本日のメイクアップ]

小城 章員 (7/2 飛火野RC)

中山 恒武 (7/2 多摩RC)

[欠席届者] 赤尾、内藤、隅、横倉

[欠席者] 大松

[誕生日祝]

(会員) 赤尾 恭雄、遠藤二郎、橋口洋三、

(夫人) 橋本武子様、横倉文子様、

松原久子様



[結婚記念日]

津守 弘範・ユリ様、松原 健・久子様

田中 實・タツ子様



## 【第2年目に期待するもの】

特別代表 由井 重光

今日は皆様 ロータリー学園小学2年生に進学おめでとうございます。

ロータリーでは役員は1年を原則とし同じ委員を再任しないよう配慮されます。



田中会長は採用された細則により初めて選出され、第2年目を担当されますが、初年度は別段の方法で選ばれたのであり、任期も中途であるので、ロータリーでは殆ど初代は2年目を担当させられています。皆様方が共に推した会長・幹事を中心に初志にかえて再出発して下さい。一年目は甘く採点して85点、辛くいうと65点位でしたか、特別成績の良い会員もありませんが、1年生は1年生、6年生にはなれません。そこいらを間違えないようにして下さい。ロータリークラブの育成について初年度から数年は特に大切な期間です。1年生の時は総花的でしたので、ある程度それが分かった2年生では各論に入って更に1から勉強して下さい。これが2年目の目標です。ロータリアンになってバッヂを着用しただけで人々から信頼され、尊敬される事にはなりません。それには

◎「格式のあるクラブ」を作ることです。近隣にぬぎんでたクラブにするには皆の努力で象牙の塔にすることです。

先ず欠席したらメイクアップをする事。休み放しは100%出席している全員の努力に水をさす事になります。クラブのグレードは出席率で評価されます。義務を果たし、ロータリーを学び、ロータリーらしいクラブを育て上げ、そのクラブのメンバーである事に誇りを持てるようにしましょう。

◎豊かな暖かい心を養成しよう。

人は自分の会社以外の社会でも指導的立場を経験することは人生に於て誠に大切です。

皆様は誰もが既にロータリーの会長をする事が出来る経験豊かな会員ですが、特に此のロータリーの会長の体験は人生の中で極めて

貴重な体験であり、その体験の前と後とは人物が目に見えて異なるのは得難いものです。◎職業奉仕の意味を理解しよう。

これはなかなか理解しにくい。しかしこれが理解出来、これを実践するようにならないとロータリアンとしての信頼と尊敬は得られない。統ての言行は他人の立場に立って行動し神から与えられた職業を通して社会や他人の役に立つ様になる事を言う。これは時間をかけて学んで欲しい。嘘やごまかして財を成して、そこに人生の生甲斐はある筈がない。

親睦なくして奉仕なし。しかし先ず2年目は確実に「基本に忠実」を一度習慣付けて頂きたい。欠席したらメイクアップを、そしてフアィヤサイドミーティングを、それが「明るく楽しく格式のあるクラブ」へのイントロです。皆様の将来の為に、2年目に期待致します。

## ❖❖【イニシエーションスピーチ】❖❖

「4だせ運動」を

奥田 文夫

誰にも生涯で忘れることの出来ない強烈な思い出というものがあるでしょう。

私にとって、それは46年前の3月10日夜中の空襲です。わが家が火柱になって崩れ落ち



るのを確認して母子4人夢中で逃げ回りました。明け方の光景は見るも嗅ぐも無残でした。

3年間の疎開を経験して、再び東京に戻ってきたからは衣食住の苦しみにまどわれ続きでした。敗戦で家も資産も全て失い将来は陸軍大将になろうという子供の夢も消えてしまいました。

中学1年生の時、英語の先生は地元のお寺のお坊さんでした。頭を丸くした先生がアイ・アム・ア・ボーイ。ジス・イズ・ア・ペンとやってくれたお蔭で英語にすっかり興味を無くしてしまいました。中学時代は新聞配達、高校時代はリロバン塾の先生をして家計を助けながら通学しました。大学も働きながら卒業しました。高校時代、教師の指導もあって社会思想を勉強し、大学では労働運動の指導

者になるうと労働法を集中的に学びました。

ところが就職して配属されたのが、何と皮肉にも労働管理課でした。以来30年近く管理部門を歩き、組合活動とは反対の立場にいました。その間、ずっといつかは独立して自分の理想とする世界を持ちたいと考えながらサラリーマン生活を送ってきたのです。

やっと3年前に色々なしがらみから抜け出して自分の事業を持つことが出来ました。これからが自分の本領を發揮できるどうか試練の時だと思っています。

現在、私は「4だせ運動」というのを生活上、事業上のモットーとしています。

\*声だせ \*汗だせ \*知恵だせ \*文だせの4つです。これは言葉では大変難しいのですが、実践すればする程深みもあって味わいがあります。事業を始めただばかりの愚生が、諸先輩方にこんな事を提案するのはおこがましい限りですが、この4つの標語を実践してみただけでないでしょうか。どんなグループでも、会社でも、家庭でも必ず明るくなるし、躍進するし、気配りの行き届いた素晴らしい集団になることを確信しています。ご静聴ありがとうございました。

---

#### 【地域密着が基本戦力】

大熊 将夫

私は、埼玉県浦和市に生れ、高校卒業の18才迄、浦和で育ちました。名古屋大学に入学しましたが、1年で中退し、或る財閥系の製鉄会社に就職し、大学は愛知大学の二部を卒業しました。我儘な性格でしたから上司の止めるのも聞かず4年で退職し、現在不動産関連の仕事をしています。

さて、今日は不動産流通業界の二つの流れについて話します。不動産といいますがと張り紙をベタベタ貼り、ジメジメした暗いダークな印象を受けます。しかし7年前の昭和59年6月、石原舜介東工大教授が会長となり、不動産業界が発足しました。その後、日大建築学科や東洋大学で不動産に関する口

座が開講され、平成4年4月には不動産学部が岐阜県に設立される某大学に開設されます。

又、業界に於いても営業マンが研修登録員制度が発足したり、最近では不動産コンサルタントやマネージメントの資格試験が建設省によって実施される予定です。これらの流れはダークなイメージの私共の業界にとつて、それを払拭する意味で、又社会的地位向上の上からも喜ばしいことと存じております。

一方不動産流通業界では激しいサバイバル戦が行われております。現在、全国で12万強の業者がありますが、5%は発展する。35%は条件があれば事業の継続が可能、60%は転廃業といわれております。昭和40年代は「作れば売れる」「量の時代」から50年代は「質の時代」に、60年から平成にかけては低成長の「成熟の時代」といわれておりますが、現在は地価高騰と高金利、総量規制で真に「氷河期の時代」で戦後3回目の大不況の時でもあります。その上、昭和52~53年にかけて大手不動産会社が仲介市場に続々と参入し、中小業者との対立が激化し、56年には建設省の調停で三井グループと和解しましたが、その後の10年間で三井、東急、住友を初めとする大手業者に完全に打ち負かされ、現在は中小と中小、零細と零細業者のサバイバルが始まっています。ちなみに63年3月の資料ですが、全国世帯に対して不動産業者は332世帯に1業者です。東京の場合は202世帯に1業者ですから少し多過ぎるのかもしれませんが。

私共の会社は「条件があれば生き残れる」範疇の下の方だと思います。社員ともども苦慮しながら「地域密着」を基本戦略の一つとして、地域の方々に満足して頂き、地域の人々に支持される組織を目指して活動しております。

その様な中で今年、多摩市社会福祉協議会から「永年寄附功労者」として表彰をうけました。小さなイベントの積重ねとその益金を5年間ほど寄附してきたからです。これは私共の誇りの一つでもあります。つたないスピーチでございましたが、これで私のイニシエーションスピーチを終わります。ご静聴有難うございました。



1991～1992年度 クラブ組織一覧表

【クラブ役員及び理事】

役	職	氏 名
役員	会長	田 中 實
理事	会長 エレクト	赤 尾 恭 雄
役員	副 会 長	横 倉 恒 雄
役員	幹 事	宮 本 誠
役員	会 計	戸 田 昭 寿
役員	S A A	海 野 栄 一
理事	職業奉仕委員長	大 熊 将 夫
理事	社会奉仕委員長	小 城 章 員
理事	国際奉仕委員長	奥 木 博 勝
理事	青少年奉仕委員長	高 野 範 城
	副 幹 事	橋 口 洋 三

【委員会組織】

委員会名	委員長	副委員長	委 員
クラブ奉仕	横倉(恒)	赤 尾	
会員増強	小 島	吉 田	須 藤・吉 尾
職業分類	遠 藤	隅	大 松・高 野
会員選考	永 田	杉 田	横 倉(舜)
ロータリー情報	隅	吉 沢	萩生田
出 席	松 原	中 山	橋 本・吉 原
プログラム	伊 神	北 村	大 熊
親 睦	城 倉	永 田	奥 木・内 藤・中 山・奥 田
S . A . A	海 野	菊 池	北 村・杉 田・猪 俣・吉 沢・小 島
会 報	足 立	奥 田	赤 尾・遠 藤・津 守・橋 口
雑 誌	吉 田	増 川	伊 神
広 報	横倉(舜)	内 藤	松 原
職業奉仕	大 熊	橋 口	海 野
社会奉仕	小 城	風 間	横 倉(恒)
国際奉仕	奥 木	大 松	菊 池
世界社会奉仕	橋 本	吉 原	風 間
米山奨学事業	吉 尾	新 海	戸 田
ロータリー財団	萩生田	津 守	小 城
国際青少年計画	新 海	猪 股	城 倉
青少年奉仕	高 野	須 藤	足 立・増 川



東京多摩グリーンロータリークラブ

会 長：田 中 實 副委員長：奥田実生・委員：赤尾恭雄  
 幹 事：宮 本 誠 庶務：猪俣、津守弘毅、橋口洋三  
 会務委員長：足 立 隆太郎

事務所：東京都多摩市落合547  
 多摩センタービル7F

TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会場 多摩センタービル7F サファイヤバンケットルーム

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30